

KALS NEWSLETTER 62

2021年1月

九州アメリカ文学会

事務局 九州大学大学院言語文化研究院内

福岡市西区元岡 744

〒819-0395

明けましておめでとうございます。
昨年は、新型コロナの影響により、大学の授業が遠隔で行われるなど、今までに体験したことのない時間を過ごしました。
また、九州アメリカ文学会を長きに渡り支えてくださった、小野先生、橋口先生を失いました。2021年、コロナの収束はまだまだ見えない状況ですが、先達の教えを胸に、研究に進んでまいりましょう。

お二人の碩学を偲び

北九州市立大学名誉教授 乗口慎一郎

九州アメリカ分学会の両翼的な存在だった、小野和人先生は去る4月24日、橋口保夫先生は7月30日にご永逝されました。お二人の碩学を悼み哀悼の意を捧げ、お偲び申し上げます。

小野和人先生は1940年の生まれで、満80歳でご逝去されました。1962年に京都大学文学部を卒業、同大学院修士課程を修了し、1990年文部省在外研究員として、カルフォルニア大学サンターバーバラ校で、専ら、ソローの滞在研究に専念しました。九州大学名誉教授、日本ソロー学会顧問でした。

小野先生の出版書籍は『ソローとライシーム』(開文社出版)『生きている道 —— ソローの非日常空間と宇宙』(金星堂)など多数ありますが、学会での研究発表や論文は枚挙にいとまがありません。

小野和人先生のお人柄について、私の印象と思い出を幾つか、申し述べさせていただきます。先生と私は1940年生まれですが、先生は早生まれですから、学年は1年上でした。しかし、私は小野先生を兄のようにお慕い申し上げ、公私ともに、大変懇切丁寧なご指導を戴きました。同年生まれのよしみで、先生には特別なご無理を申し上げ、北九州アメリカ文学研究会(現会長、薬師寺元子先生:北九大非常勤講師)主催で、市民対象の「アメリカ文学特別講演会」をお願いしました。更に、大学院生へのアメリカ文学の講義も担当していただきました。私も先生のお世話で、西南女子

短期大で5年間、「総合英語」を担当いたしました。小野先生との九州アメリカ文学会と私的な交流を通して、先生の温厚にして、底深い優しさは、心に深く刻み込まれています。

橋口保夫先生は、我が人生に於ける特別な存在です。以下にお示ししますように、一方的にお世話になりました。第一は、ある日、先生からご自宅へお招きいただき、奥様と3名で談笑中に、福岡女子短期大学へ応募するように、とのお話をいただきました。何故か、この話が東筑のキャンパスに流れ、「乗口転出反対署名運動」を東筑生たちが起こし、署名を福岡女子短期大学学長宛に送っていました。学長さんは、このような学生の署名が起こる人物なら、採用しようと決めたそうです。

次に申し上げますのは、橋口先生に「北九州アメリカ文学会研究会」で2回、大変お世話になったことです。*The Scarlet Letter*の原書のReading マラソンを、午前10時から午後11時まで実践し、80名程の参加の中、最後から2番目に登場いただきました。先生の英語の朗読は、ネイティブ以上によどみなく正確で素晴らしく、今でも忘れられない朗読でした。

橋口先生の特別講演と言えば、福岡女子短期大学でのことが、思い出されます。700名程の学生を対象に、体育館でお話してくださいました。先生は、壇上から降りて、学生たちの中を歩き回り、要所要所で、マイクを学生に向け、質問をし、コメントを求めました。これは私には全く新しい講演のやり方でしたので、以後、参考にさせていただき、今日に至ります。

このように、小野和人先生と橋口保夫先生に共通した点は、柔和で穏やかで温かく、底深い研究者としての業績を残されたことです。九州アメリカ文学会にとりましても、掛け替えのない、貴重な存在でした。われらが誇る両碩学が、大宇宙から私たちの研究を見守り、支えて下っております。私たちもその期待に沿って、純一無雑に尽力致しましょう。

12月例会報告

福岡大学 大島由紀子

[発表]: 山口晋平 (九大博士後期) 「『ブライズデイル・ロマンス』におけるマスカレードと身体」は、ホーソーンのこの小説舞台を私的劇場と捉え、観察の人 Coverdale が被る仮面を中心に、丁寧に論じる。オンライン開催とあって、海外参加者から、Zenobia の胸を penetrate した傷についてアフェクト理論と絡めた質問もあった。奇しくも、山口氏が主題とした、他者との距離の取り方、窃視、現実的かつ認識論的 penetrate というキーワードまでが、[講演] 古井義昭 (立教大) 「メルヴィル文学における他者の深層—『タイピー』を中心に」と共通していた。古井氏は、ポリネシアのタイピー族側から逗留白人である主人公 Tommo を読めばどうなるかと、従来の発想を反転させて見えてくるものを探る。部族にとって Tommo は好奇や監視の対象だけでなく共同体に取り込むべき対象でもあり、Tommo はそれを知っていた。従来は彼と現地の美少女 Fayaway との間に肉体関係が推測されてきたが、古井氏は、Tommo が彼女を神秘化はしても性交渉はしないと主張する。子供でもできれば部族に絡めとられると知っていたからだ。確かに、そう読めば、Tommo の逗留先 Mehevi 家との距離も、着脱可能の「服」は着ても刺青は固辞する姿勢も、中途半端だとされてきた作品最終部も、腑に落ちる。Tommo は傍観者に徹して、タイピーのみならずアメリカ、否、どこにも帰属しないのである。アメリカに属せないのは、ハワイ原住民を見て自国原住民と重ね、白人として加

害者性を痛感するからである。なお、他作品の主人公—Ahab、Bartleby、Babo—への言及のみならず、以下のような名言の披露もあった。たとえば、Tommo は行動しない冒険者である。メルヴィルにとって他者とは自身に他ならない。両極の間という状態はすぐれてメルヴィル的とはいえ、それは妥協すべき中間点ではなくメルヴィルは孤独に甘んじてでも個人性を守ることを選ぶ。など。獨創性に溢れ、かつ、氏がアメリカの大学出版で出した単著とも一貫性のある思索体系に、圧倒される講演であった。

事務局からのお知らせ

(1) 九州アメリカ文学賞応募

『九州アメリカ文学』61号に詳細がありますように、九州アメリカ文学賞（新人賞）の応募締め切りは2021年2月20日です。応募をお待ちしています。

郵便もしくは電子メールによる応募が可能です。

(i) 郵送の場合

〒819 - 0395 福岡市西区元岡 744 九州大学大学院言語文化研究院内
九州アメリカ文学会事務局 宛

(ii) 電子メールの場合

銅堂恵美子（福岡大学）emikododo@fukuoka-u.ac.jp

いずれの場合も、「九州アメリカ文学賞論文応募」と明記して下さい。

(2) 『九州アメリカ文学』投稿

『九州アメリカ文学』61号に記載の投稿規定にありますように、『九州アメリカ文学』62号への投稿は2021年4月30日（金）締め切りです。こちらも応募をお待ちしています。

宛先は

〒819 - 0395 福岡市西区元岡 744 九州大学大学院言語文化研究院内
九州アメリカ文学会事務局 宛

です。プリントアウト 3部を郵送し、封筒には『九州アメリカ文学』応募原稿」と明記してくだ

さい。

(3) 「九州アメリカ文学学会出版助成金」申請

「九州アメリカ文学学会出版助成金」への申請締め切りは、規則の変更により、2018年以降2月末日から1月末日に変更になりました。従って、2021年度の締め切りは、2021年1月31日（日）となります。また助成限度額も、従来の300,000円から、100,000円に変更されています。申請の要領は、『九州アメリカ文学』61号をご参照下さい。

(4) 九州アメリカ文学学会第66回大会発表者募集

九州アメリカ文学学会第66回大会は、2021年5月8日(土)・9日(日)の両日、九州大学伊都キャンパスにおいて開催されます。つきましては、下記の要領で研究発表を募集いたしますので、ふるってご応募ください。多くの研究者の積極的なご参加をお願いいたします。

1. 発表者は大学院博士前期課程（修士課程）在学者を含むアメリカ文学研究者。
 2. 発表時間は40分（発表30分、質疑応答10分）。
 3. 発表は英語でも日本語でも可。
 4. 発表希望者はタイトルとレジюмеを以下の要領で提出すること。
 - * レジюмеは発表の際に使用する言語で作成すること。
 - * 英文の場合は300語程度。
 - * 日本文の場合800字程度とし、数行の英語の要旨または数語のキーワードを文末に付加すること。
 - * 発表題目の固有名詞（作家名・作品名）は英語とする。
 - * コンピューターで作成する場合は、Wordを使用し、メールで添付書類として送付するか、ワープロソフト名が明記されたフロッピーディスクに原稿を添えて郵送すること。
- * 提出先 メール takano@lit.kyushu-u.ac.jp
- 郵送先 〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学大学院人文科学研究院 高野泰志研究室
- * 締め切りは2021年2月20日（土）（必着）。
- * 大会ならびに発表に関するお問い合わせは、高野泰志（tel.092-802-5031/ e-mail:

takano@lit.kyushu-u.ac.jp) までお願いします。実りある大会にするために、多くの応募を期待いたします。

(5) 『アメリカ文学研究』, *The Journal of the American Literature Society of Japan* 論文投稿

日本アメリカ文学会発行の『アメリカ文学研究』(和文、英文)への論文投稿希望の方は、直接、本部事務局へ論文を送付してください。原稿送付先住所、締め切り等、詳細は必ず本部のホームページにてご確認ください。

(6) 日本アメリカ文学会第60回全国大会発表者募集

2021年度日本アメリカ文学会第60回全国大会は、2021年10月2日(土)・3日(日)の二日間にわたり、関西学院大学にて開催が予定されています。発表を希望される方は、名前、住所、略歴、現在の所属、発表のレジュメを九州アメリカ文学会事務局のメールアドレス(okamoto@flc.kyushu-u.ac.jp)に3月31日(水)までに電子メールで送付してください。

応募に際しては、以下の点に特に気をつけてください。

- (i) 略歴では、連絡用のメールアドレス、6~7月にかけてグラを送送する宛先の住所(郵便番号)、現在の所属(常勤か非常勤か)を必ず明記する。
- (ii) 発表タイトルに副題をつける場合は、和文は「——」、英文は「:」に統一する。
- (iii) 発表レジュメの字数は日本語で1200字程度、英文で400語程度。

なお、その詳細につきましては、例年学会本部から会員に送られる年賀状に記載されていましたが、2019年から年賀状は廃止されました。研究発表の投稿規定は、日本アメリカ文学会本部ホームページに掲載されていますので、発表を希望なさる方はそちらをご覧ください。

(7) 会計からのお知らせ

大学等の所属に変更がございましたら、年会費振込用紙にその旨をお書きいただくか、あるいは、KALS 会計(高橋勤 :tsutomu@flc.kyushu-u.ac.jp)までメールにてお知らせください。よろしくお願いいたします。

2020年度役員・委員名簿

変更を下線で占めず

会 長 高橋 勤 (九州大)
顧 問 安河内英光
山里 勝己 (名桜大)
小谷 耕二 (福岡女子大)
早瀬 博範 (佐賀大)

事務局 長 岡本 太助 (九州大)
幹 事
(例会担当) 坂井 隆 (福岡大)
大野瀬津子 (九州工業大)
(大会担当) 高野 泰志 (九州大)
(九州アメリカ文学賞担当) 銅堂恵美子 (福岡大)
(ニュースレター担当) 江頭 理江 (福岡教育大)

会 計 高橋 勤
監 査 長岡 真吾 (福岡女子大)

編集委員長 池田 志郎 (熊本大)

本部代議員 高橋 勤
岡本 太助

本部大会運営委員 渡邊真理子 (西九州大)

本部編集委員 (支部選出) 永尾 悟 (熊本大)

本部サイト運営委員 高橋美知子 (福岡大)

編 集 委 員 池田 志郎
田口 誠治 (尚綱大)
永尾 悟
楠元 実子 (熊本高専)
Scott Pugh (西南学院大)
David Farnell (福岡大)
Wayne Arnold (北九州市立大)

地 区 委 員 齊藤 園子 (北九州市立大)
鈴木 繁 (佐賀大)
山田健太郎 (県立長崎シーボルト大)
池田 志郎
雲 和子 (大分大)
井崎 浩 (宮崎大)
千代田夏夫 (鹿児島大)
加瀬 保子 (琉球大)

支部サイト運営委員 藤野 功一 (西南学院大)